

令和7年度 小山市立絹義務教育学校の学校経営について

令和7年4月1日

1 学校教育目標

◎ 自分の考えをもち、進んで学習できる児童生徒	[知]
◎ 心豊かで、よりよく人と関わることができる児童生徒	[徳]
◎ 健康で、たくましく根気強い児童生徒	[体]

2 学校経営方針

(1) 基礎基本の習得と学習意欲の高揚に力を入れ、「確かな学力」の向上を図る。 (2) 基本的な生活習慣の育成に力を入れ、「心の教育」の充実を図る。 (3) 健康で安全な生活習慣の育成に力を入れ、健康の増進と体力の向上を図る。 (4) 家庭・地域と連携し、地域とともにある学校づくりを推進する。

3 学校経営方針にもとづく努力点と具体策

(1) 基礎基本の習得と学習意欲の高揚に力を入れ、「確かな学力」の向上を図る。

努力点	具体策
○ 自ら学びに向かう意欲・態度の育成	○ 学びに向かう意欲・態度を引き出す課題設定の工夫 ○ 学習の約束の徹底と、基礎的・基本的事項の確実な定着 ○ 主体的・対話的な学びの場の設定（書く活動と学び合いの充実） ○ ICTの効果的な活用と個に応じた支援の工夫

(2) 基本的な生活習慣の育成に力を入れ、「心の教育」の充実を図る。

努力点	具体策
○ 思いやりのある温かな集団づくり	○ 学び合いや主体的な体験活動を通した「よりよい人間関係づくり」の推進 ○ 思いやりの心と道徳的実践力の育成（学校スローガン「愛と勇気の学校」の推進） ○ 児童生徒会や実行委員会の活動を通した、意図的なリーダーシップ、フォロワーシップの育成 ○ 全学年を通したあいさつ運動の推進

(3) 健康で安全な生活習慣の育成に力を入れ、健康の増進と体力の向上を図る。

努力点	具体策
○ 家庭と連携・協力した健康教育・安全教育の推進	○ 家庭と連携・協力した生活指導の充実 ○ 自己理解の推進と、自他の生命尊重を基盤とする危機管理能力の育成 ○ 情報モラル教育の推進（適切なタブレット利用の徹底） ○ 勤労・奉仕的活動や体育的行事等を通じた達成感の育成

(4) 家庭・地域と連携し、地域とともにある学校づくりを推進する。

努力点	具体策
○ 地域への理解・協力・支援体制の確立	○ 積極的な情報発信と交流の推進（情報伝達手段の活用等） ○ 学校運営協議会の充実と地域（PTA、後援会、同窓会等）との協働体制の確立 ○ 学校支援ボランティアとの協働と、地域活動への積極的な参加

4 めざす学校像、児童生徒像、教職員像

(1) めざす学校像

○ 児童生徒一人一人が、明るく、楽しく、学び合える学校 ○ 児童生徒一人一人が、自らの居場所を実感できる学校 ○ 児童生徒一人一人が、元気に生き生きと活動できる学校 ○ 家庭や地域と共に歩み、信頼され、愛される学校 ○ 教職員にとって、教える喜びや働く意欲に満ちた学校
--

(2) めざす児童生徒像

○ 自分の考えをもち、進んで学習できる児童生徒 ○ コミュニケーション能力を身に付け、よりよく人と関わる児童生徒 ○ 目標をもち、最後まであきらめずにがんばることができる児童生徒

(3) めざす教職員像

○ 児童生徒に教育的愛情をもち、児童生徒のよさを引き出すことに努める教職員 ○ 明るく前向きで、資質・能力の向上に努める教職員 ○ 小・中の学校文化を乗り越え、互いによさを出し合い、支え合い、組織的に取り組む教職員 ○ 地域・家庭と協働し、児童生徒の心身の健康安全に常に気配りができる教職員 ○ 服務規律の遵守と働き方改革を自分事として取り組むことができる教職員
